

僕の中の悪い鬼、出てけえ～!

すまゝるひろばで豆まき大会

2月3日の節分に合わせて、すまゝるひろばで「豆まき大会」が開催されました。昔・むかしを伝える会（金原輝美代表）が主催するこの豆まき大会。6回目となった今年は、ひかり幼稚園と白川保育園の園児や保護者など約280人が参加しました。赤、黄、緑の鬼が登場すると泣き出しちゃう子もいましたが、新聞紙を丸めて作った「豆」を元気に投げていました。豆まきの後は、歌を歌ったり、鬼も一緒になって楽しく節分を過ごしました。わが子の姿を見に訪れた堤正義さん（31歳）は、「今年も福が来ますように」と温かく見守っていました。



▲みんな元気に「鬼は外! 福は内!」

みんな一本の綱に力を合わせて!

ひいて ひかれて 第19回市民綱引き大会

2月7日、ホワイトキューブで、「ひいて ひかれて 第19回市民綱引き大会」を開催しました。

今年の大会には、小学生の部に13チーム、中学生の部には7チーム、一般の部に5チームの合計25チームがエントリー。優勝を目指して一本の綱に力を合わせて引き合いました。

熱戦の結果、小学生の部では白二小6年生のチーム「風林火山」、中学生の部では「白石中学校陸上A」チーム、そして一般の部では郡山地区の皆さんのチーム「大笑い」がそれぞれ優勝しました。



▲力を合わせてソーレ! ソーレ!

指先に熱い思いを込めて…はっけよい!

放課後児童クラブで第4回紙相撲大会



▲2月9日の千秋楽に行われた準優勝決定戦（幕下の部）

1月18日から2月9日にかけて、白一小を舞台に第4回紙相撲大会を開催しました。放課後児童クラブを利用している子どもたちが、冬でも楽しく遊べるようにと始まったこの行事。1年生が幕下、2年生以上は幕内となつて、自分たちが作った紙の力士で優勝目指して真剣勝負を繰り広げました。3週間に及ぶ対戦の結果、今場所は幕下の部で白一小1年の伊藤柊里ちゃん（しこ名：しゅりの里）が、幕内の部では白一小2年の佐々木美音ちゃん（しこ名：みおの海）がそれぞれ、ダントツの強さを見せて優勝を飾りました。

100年も元気でいてくれたことに感謝します

岩間みよのさんに祝詞と松竹梅敬老祝金を贈呈



▲みよのさんを囲んで記念撮影

2月10日に満100歳の誕生日を迎えた岩間みよのさんを風間市長が訪ね、祝詞と松竹梅敬老祝金を贈り、ご長寿を祝福しました。

現在、八宮荘に入所中のみよのさん。この日はご家族のほか、施設を利用する皆さんや職員なども集まり、全員でみよのさんのご長寿をお祝いしました。

横浜市から駆け付けた二男の岩間繁夫さん（75歳）は、「私が子どもの時は、朝早くから夜遅くまで働いていたイメージがあります。今はご苦労さまと言いたいです」と、当時を懐かしむように話してくれました。

優勝目指して! 真剣勝負!

第7回小学生シャフルボード大会

1月16日、中央公民館・大ホールで第7回小学生シャフルボード大会を開催しました。

シャフルボードは、船の甲板上で楽しまれていたゲームです。2人一组で、細長い棒の「キュー」を使って、「ディスク」と呼ばれる円盤を押し出します。約15メートル先にある数字が書かれた枠の中に4枚のディスクをシュートし、合計点数を競い合います。

この日は21チーム42人が出場。3つのコートに分かれて熱戦が繰り広げられ、Bコートから勝ち上がったドラゴン・エンペラー（白二小）が優勝しました。



▲Aコート「レイルー&モエルー対JAL●MT」の試合

笑顔で結ぶ 地域のなかまづくりを!

鷹巣地区もちつき大会

1月17日、鷹巣地区にある観福寺で、鷹巣自治会青年部「たかのすはっぴ会」（齋藤隆夫会長）が主催する「もちつき大会」が開催されました。

今年で6回目となった鷹巣地区のもちつき大会には、昨年を上回る160人が参加。もち米24升でもちつきを行いました。集まった子どもたちは、8つのグループに分かれてもちつき体験のほか、昔遊びや丸太を切つてペンダントづくりなどを楽しみました。午後からは、「防災クイズ大会」や「ビンゴ大会」などを行い、子どもたちの大きな笑い声がいつまでも響いていました。



▲はっぴ会員と一緒にもちつきをする斗吾くん（2歳）

災害に備えて、地域ぐるみで訓練

本郷第一自治会で防災訓練



▲消火器による消火訓練を行う参加者たち

1月31日、中央公民館を会場に本郷第一自治会（吉野征四郎会長）の防災訓練が開催されました。

今年で3回目となる防災訓練では、避難訓練や救急救護訓練、消火訓練と婦人防火クラブの皆さんによる炊き出し訓練を実施。昨年10月に開催する予定でしたが、新型インフルエンザが流行したため1月の開催となりました。

この日は、70人を超える皆さんが訓練に参加。白石消防署員が講師となった救急救護訓練では、止血や骨折の際の固定方法、AED（自動体外式除細動器）による心肺蘇生法を熱心に学んでいました。

世代を超えた頭脳合戦!

第48回新春囲碁・将棋大会



▲ALTの2人も参加し、真剣勝負!

1月24日、第48回新春囲碁・将棋大会が中央公民館で開催され、市内外の老若男女約60人が参加しました。

将棋の部では、白石高校3年生の山崎晃平さんが、一番強い組で見事2連覇を達成しました。山崎さんは「将棋に対する向上心を持って、楽しみながら続けてきました」と、将棋への思いを話してくれました。また、囲碁の部にはALTの2人も参戦。2人は毎週土曜日、中央公民館の囲碁教室（「碁のまち白石をつくる会」主催）に通いメキメキと上達しました。参加者は真剣勝負の中にも、国籍や世代を超えた交流を楽しんでいました。